

問 下請けを含む工事発注に市内業者を使つては、業者選定要領で市内業者育成の観点から優先する取り扱いを行っている。

答 業者選定要領で市内業者育成の観点から優先する取り扱いを行っている。

大場康議（市政クラブ）

市民病院のDPPC導入について

問 入院費の計算にDPPCを導入すると、きめ細かな医療が行き届かない心配があるが、どう考えるか。

答 DPPCデータの活用により、他病院の診療行為等も分析でき、患者の治療にも活用できるのではないかと思つている。

企業誘致に対する具体的な働きかけは

問 今後の国道23号、第二東名の開通や山側地域の災害の少なさという地の利を含めて県企業庁へのアプローチを行っているのか。

答 工業用地の開発に当たり、どういった課題があるかを県企業庁に聞いてきた。今後は、課題に関連

する担当課で勉強会を開いて検討を行うなど、引き続き企業用地の造成に向け努力をしていきたい。

柴田安彦（無会派）

消防団員の確保対策と機能別消防団の創設

問 条例で入団の条件は市内に在住する20歳以上の者と決められている。年齢制限の引き下げや市内居住条件の緩和も含めて対象者を拡大し、消防団員の確保のための工夫をすべきではないか。

答 条例で入団の条件は市内に在住する20歳以上の者と決められている。年齢制限の引き下げや市内居住条件の緩和も含めて対象者を拡大し、消防団員の確保のための工夫をすべきではないか。



消防団による操法の様子

問 入団条件の変更には条例改正が必要であり、消防団幹部や関係者の意見を聞きながら検討していきたい。

答 入団条件の変更には条例改正が必要であり、消防団幹部や関係者の意見を聞きながら検討していきたい。

17年に国は機能別消防団員制度の指針を示している。消防団活動の応援に理解を示している消防団OBを機能別消防団として組織して、特に人手不足で困っている分団の強化に利用してはどうか。

問 17年に国は機能別消防団員制度の指針を示している。消防団活動の応援に理解を示している消防団OBを機能別消防団として組織して、特に人手不足で困っている分団の強化に利用してはどうか。

答 制度導入によるデメリットなどの課題を消防団幹部とよく相談しながら導入の是非についてじっくり検討していきたい。

広中昇平（市政クラブ）

産学官連携事業の今後の展開は

問 産業振興などのため産学官連携による積極的な取り組みが必要である。アワビの陸上養殖は一つの提案であるが、産学官連携事業の今後の展開は。

答 県立水産高校等と企業が連携して積極的アワビの陸上養殖を進めてい

きたいというのであれば、部会等を設置して研究をしていきたい。

ソフィア看護専門学校の今後の方向性について

問 県内の社会福祉法人から学校経営を任せてもらえないかという相談があった。今後の方向性に対する市の考えは。

答 今後示される具体的な提案内容が大きな経営改善に結びつく可能性がある場合は、議会に相談しな



ソフィア看護専門学校

伴 捷文（市政クラブ）

新斎場の建設について

問 斎場までの道路は非常に狭く、改修工事が必要と思われるが、対応は。

答 大久古池から斎場までの約500m区間は道路幅員が狭く、拡幅整備を行っていく。今後は24年度前半に地元説明会を開き、後半には実施設計の委託を行う。本体工事を25・26年度に行い、27年度の道路供用開始を目指す。

くじ港の廃船処理について

問 くじ港の廃船処理が進まず、環境と景観に影響を及ぼしている。今後どのように解決していくのか伺う。

答 早期に全ての廃船が片付くよう庁内各部で協力するとともに、飛田県議にも力添えを願ひ、強く県三河港務所に要求していく。